

商品名 イマチニブ錠200mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	4291 その他の抗悪性腫瘍用剤	一般名	イマチニブメシル酸塩錠
英名	Imatinib TOWA	剤型	錠
薬価	984.10	規格	200mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(劇)

イマチニブ錠200mg「トーフ」の効能・効果

慢性骨髄性白血病、KIT<CD117>陽性消化管間質腫瘍、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病、FIP1L1-PDGFR α 陽性の慢性好酸球性白血病、FIP1L1-PDGFR α 陽性の好酸球増多症候群

イマチニブ錠200mg「トーフ」の使用制限等

- | | | |
|---|-------|--------|
| 1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、ロミタピド投与中 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 禁止 |
| 2. 心疾患又はその既往、心合併症を有する好酸球増多症候群、B型肝炎の既往、B型肝炎ウイルスキャリア、HBs抗原陰性かつHBc抗体陽性、HBs抗原陰性かつHBs抗体陽性、肝機能障害、レボチロキシン補充療法を受けている甲状腺摘出 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 注意 |

イマチニブ錠200mg「トーフ」の副作用等

- | | | |
|---|------|--------|
| 1. 肝機能検査値上昇、ビリルビン上昇、AST上昇、ALT上昇、ビリルビン値が施設正常値上限の3倍超、AST値が施設正常値上限の5倍超、ALT値が施設正常値上限の5倍超、好中球減少、血小板減少、好中球数1000/mm ³ 未満、血小板数50000/mm ³ 未満 | 記載場所 | 用法・用量 |
| | 頻度 | 頻度不明 |
| 2. 好中球数500/mm ³ 未満、血小板数10000/mm ³ 未満 | 記載場所 | 用法・用量 |
| | 頻度 | 頻度不明 |
| 3. 骨髄抑制、白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、ビリルビン上昇、肝機能障害 | 記載場所 | 重大な副作用 |

<p>4. 出血、脳出血、硬膜下出血、胃前庭部毛細血管拡張症、Gastric antral vascular ectasia、GAVE、貧血、肝不全、重篤な体液貯留、心タンポナーデ、急激な体重増加、呼吸困難、B型肝炎ウイルス再活性化、肺線維症、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、重篤な皮膚症状、天疱瘡、水疱、びらん、痂皮、心膜炎、胸痛、脳浮腫、頭蓋内圧上昇、麻痺性イレウス、嘔気、嘔吐、腹痛、便秘、血栓症、塞栓症、深部静脈血栓症、肺塞栓症、息切れ、四肢疼痛、浮腫、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、腫瘍崩壊症候群、肺高血圧症、血栓性微小血管症、破碎赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害</p>	<p>記載場所 重大な副作用</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>5. 腫瘍出血、消化管穿孔、腹膜炎、下血、吐血、貧血、腹痛、腹部膨満感、嘔気、嘔吐</p>	<p>記載場所 重大な副作用</p> <p>頻度 5%未満</p>
<p>6. 汎血球減少、消化管出血、黄疸、胸水、腹水、肺水腫、心膜滲出液、うっ血性心不全、肺炎、敗血症、感染症、急性腎障害、重篤な腎障害、間質性肺炎、多形紅斑、剥脱性皮膚炎、ショック、アナフィラキシー</p>	<p>記載場所 重大な副作用</p> <p>頻度 5%未満</p>
<p>7. 発疹、筋痙攣、嘔気、嘔吐、下痢、食欲不振、LDH上昇、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、リンパ球減少症、好酸球増多症、表在性浮腫、眼窩周囲浮腫、顔面浮腫、眼瞼浮腫、下肢浮腫、血清カリウム低下、血清リン低下、血清アルブミン低下、けん怠感</p>	<p>記載場所 その他の副作用</p>
<p>8. 挫創、乾癬悪化、水疱性皮疹、血管浮腫、好中球浸潤、有痛性紅斑、発熱、皮膚障害、Sweet病、苔癬様角化症、扁平苔癬、点状出血、斑状出血、手足症候群、偽性ポルフィリン症、リビドー減退、錯乱、痙攣発作、失神、網膜出血、眼刺激、眼乾燥、黄斑浮腫、乳頭浮腫、緑内障、硝子体出血、坐骨神経痛、関節炎、筋骨格系疼痛、骨壊死、逆流性食道炎、大腸炎、おくび、胃腸炎、食欲亢進、憩室炎、嚥下障害、LDH低下、末梢冷感、腎臓痛、頻尿、尿沈渣異常、尿中ウロビリノーゲン増加、乳房腫大、乳頭痛、性的不能、ACTH上昇、TSH上昇、血清リン上昇、血清総蛋白上昇、プロトロンビン時間短縮、APTT延長、フィブリノーゲン増加、FDP上昇、低マグネシウム血症、頻脈、痛風、悪寒、寝汗</p>	<p>記載場所 その他の副作用</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>9. 紅斑、脱毛、湿疹、皮膚そう痒、皮膚角化症、頭皮痛、疣贅、口唇炎、口唇ヘルペス、蕁麻疹、帯状疱疹、爪障害、皮膚色素沈着障害、皮膚乾燥、紫斑、皮膚色素脱失、光線過敏性反応、脂肪織炎、頭痛、感覚減退、錯感覚、めまい、回転性めまい、末梢神経障害、うつ病、不安、片頭痛、記憶障害、不眠、頭重感、傾眠、流涙増加、眼そう痒感、結膜炎、結膜下出血、霧視、眼充血、関節痛、筋肉痛、骨痛、関節のこわばり、筋のこわばり、筋痙直、腰痛、関節腫脹、筋力低下、心窩部痛、腹部膨満、腹部不快感、腹痛、鼓腸放屁、味覚異常、口内炎、口渇、腭炎、消化管潰瘍、口腔アフタ、歯周炎、胃炎、血便、便秘、消化不良、胸やけ、総ビリルビン上昇、咳嗽、急性上気道炎、鼻炎、咽頭炎、呼吸困難、咽喉頭痛、鼻出血、白血球増多、血小板増多、血腫、舌血腫、潮紅、血圧上昇、血圧低下、BUN上昇、血清クレアチニン上昇、尿潜血、尿蛋白、全身浮腫、男性性器浮腫、女性化乳房、月経過多、血清カリウム上昇、血清ナトリウム低下、血清カルシウム低下、尿酸値上昇、尿酸値低下、血糖値上昇、CK上昇、フィブリノーゲン減少、CRP上昇、プロトロンビン時間延長、血糖値低下、血清総蛋白低下、血中アミラーゼ上昇、発熱、疲労感、体重増加、発汗、体重減少、脱水、耳鳴、疼痛、脱力、脱力感、難聴、胸痛、動悸</p>	<p>記載場所 その他の副作用</p> <p>頻度 5%未満</p>
<p>10. 重篤な体液貯留</p>	<p>記載場所 使用上の注意</p> <p>頻度 頻度不明</p>

11. 重篤な肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
12. B型肝炎ウイルス再活性化	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
13. 骨髄抑制	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
14. 脳出血、硬膜下出血、消化管出血、胃前庭部毛細血管拡張症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
15. 感染症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
16. 重篤な腎障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
17. 腫瘍崩壊症候群	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
18. 腫瘍出血、消化管穿孔、下血、吐血、貧血、腹痛、腹部膨満感	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
19. トランスアミナーゼ上昇、高ビリルビン血症、一過性の肝毒性、急性肝不全、心原性ショック、左室機能不全、流産、奇形を有する児、着床後死亡率増加、胎仔体重低下、初期胚発生への影響、外脳、脳瘤、頭蓋骨欠損、催奇形性、成長遅延、表在性浮腫、甲状腺機能低下症、一般状態悪化、死亡、胸腺萎縮、リンパ節萎縮、リンパ系組織萎縮、リンパ球崩壊、リンパ球枯渇、マラリア感染悪化、精子形成低下、精巣重量低下、精巣上体重量低下、運動精子率低下、腎臓腺腫、腎臓腺癌、尿路乳頭腫、腎盂乳頭腫、膀胱乳頭腫、尿道乳頭腫、小腸腺癌、上皮小体腺腫、副腎良性髄質腫瘍、副腎悪性髄質腫瘍、前胃乳頭腫、前胃扁平上皮癌、陰核腺乳頭腫、包皮腺扁平上皮癌、包皮腺乳頭腫、心臓肥大、心臓拡張	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

イマチニブ錠200mg「トーフ」の相互作用

1. 薬剤名等：ロミタピド

発現事象 血中濃度が著しく上昇

投与条件 -

理由・原因 本剤のCYP3A4阻害作用により、ロミタピドの代謝が阻害

指示 **禁止**

2. 薬剤名等：グレープフルーツジュース

発現事象	本剤の血中濃度が上昇
理由・原因	グレープフルーツジュースに含まれる成分がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝を阻害

投与条件	-
指示	禁止

3. 薬剤名等：抗悪性腫瘍剤

発現事象	-
理由・原因	-

投与条件	慢性骨髄性白血病、KIT (CD117) 陽性消化管間質腫瘍、FIP1L1 - PDGFR α 陽性の好酸球増多症候群又は慢性好酸球性白血病
指示	注意

4. 薬剤名等：肝機能障害を起こすおそれのある抗悪性腫瘍剤

発現事象	-
理由・原因	-

投与条件	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病
指示	注意

5. 薬剤名等：L-アスパラギナーゼ

発現事象	肝障害の発現率が上昇
理由・原因	共に肝障害の副作用を有する

投与条件	-
指示	注意

6. 薬剤名等：アゾール系抗真菌剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇、アゾール系抗真菌剤<ケトコナゾール>の併用で本剤のCmaxは26%増加、アゾール系抗真菌剤<ケトコナゾール>の併用により本剤のAUCは40%増加
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A4活性を阻害することにより、本剤の代謝を阻害

投与条件	-
指示	注意

7. 薬剤名等：エリスロマイシン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A4活性を阻害することにより、本剤の代謝を阻害

投与条件	-
指示	注意

8. 薬剤名等：クラリスロマイシン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A4活性を阻害することにより、本剤の代謝を阻害

投与条件	-
指示	注意

9. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤の血中濃度が低下、フェニトインを服用していない患者と比べ本剤のAUCは約5分の1	投与条件	フェニトインを長期
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

10. 薬剤名等：デキサメタゾン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

11. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

12. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

13. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

14. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の血中濃度が低下、本剤のCmax・AUCがそれぞれ54%及び74%低下	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3A4を誘導することにより、本剤の代謝を促進	指示	注意

15. 薬剤名等：シンバスタチン

発現事象	血中濃度が上昇、Cmax及びAUCは平均でそれぞれ2及び3倍の増加	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP3A4阻害作用によりCYP3A4基質薬物の代謝を阻害	指示	注意

16. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP3A4阻害作用によりCYP3A4基質薬物の代謝を阻害	指示	注意
17. 薬剤名等：ピモジド			
発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP3A4阻害作用によりCYP3A4基質薬物の代謝を阻害	指示	注意
18. 薬剤名等：トリアゾラム			
発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP3A4阻害作用によりCYP3A4基質薬物の代謝を阻害	指示	注意
19. 薬剤名等：ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤			
発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP3A4阻害作用によりCYP3A4基質薬物の代謝を阻害	指示	注意
20. 薬剤名等：ニロチニブ			
発現事象	AUCは18～40%上昇、本剤のAUCは18～39%上昇、本剤及びニロチニブの血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がCYP3A4及びP糖蛋白の活性を阻害、ニロチニブがCYP3A4及びP糖蛋白の活性を阻害	指示	注意
21. 薬剤名等：ワルファリン			
発現事象	プロトンピン比が顕著に上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のCYP2C9阻害作用によりワルファリンの代謝を阻害し、血中濃度を上昇	指示	注意
22. 薬剤名等：アセトアミノフェン			
発現事象	重篤な肝障害	投与条件	高用量のアセトアミノフェン (3～3.5g/日)
理由・原因	両薬剤による肝毒性が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.